

頭寒足熱システムが、学力と業績の向上に貢献します!!

「頭寒足熱」って

18世紀、オランダの名医ヘルマン・ブルーハーフェが、健康の秘訣は**頭部が冷えて足部が温かい状態にすること**と説いたのが始まりのようです。

人間の体温は、上半身が高く下半身が低くなっていますが、下半身を温めることにより血液の循環を良くし、**上半身と下半身の体温の差を出来るだけ小さくすることが頭寒足熱**です。

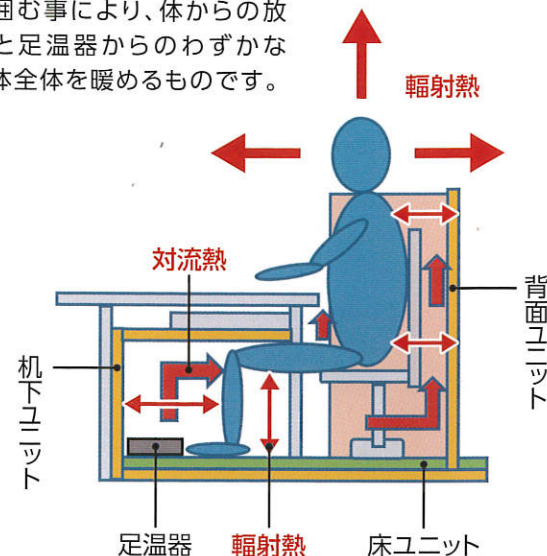
昔から、脳は発熱の多い部位で熱が出ると「頭を冷やせ」と言われますし、逆に下半身は半身浴とか足湯などで温めると良いと言われています。

寒い冬、暖房を聞かせると頭もポ〜っとしますが、足元は寒くてガタガタなんて経験もあると思います。もし、この逆の状態が出来たら勉強も仕事も能率が上がるのではと言うお客様の声を聞き、開発したものです。

これまで、大学受験生の勉強部屋や事務所内での実証実験を繰り返し、更に種々の改良を加えて完成しました。

頭スッキリ、身体はポカポカ!

頭寒足熱システムは、トップヒートバリア遮熱材で体の大半を囲む事により、体からの放射熱と足温器からのわずかな熱で体全体を暖めるものです。



「頭寒足熱システム」のメカニズム!!

POINT
01

熱源はあなた自身



このシステムの最も重要なポイントは、自分の熱で自分を温めることにあります。即ち、自分の体から放射される輻射熱が主たる熱源です。

POINT
02

トップヒートバリアの放射と反射



頭部及び体の前面以外は、トップヒートバリアで囲まれた状態となります。これにより、体から放射された熱は周囲に設置されたトップヒートバリアで反射され、再び体に戻されることにより体を温める事が出来ます。

POINT
03

頭の熱は放射



一方、熱は熱い方から冷たい方に移動するの原則に基づき、頭から放射された熱はそのまま遠方の低温の部位に照射され、再び頭に戻ることはありません。従って、頭は熱くなりません。

POINT
04

ゆっくり上昇する対流熱



ハンドウォーマーのような小さな空間で有れば、身体から放射される熱だけで体は十分暖かくすることが出来ます。しかし、机下の様な大きな空間では、体からの放射熱だけで全てを温かくすることはできません。そこで、僅か100~150ワットの足温器を足元に設け、この熱を空気に伝達する事により、足元から体の周囲全体をゆっくり上昇させる事により、身体全体に温かみを補足します。150ワットの足温器を8時間使用しても、13円程度の電気代です。超省エネシステムでもあります。

学力向上に貢献します!!

寒い部屋でも
サ〜ッと暖かく

頭はスッキリ爽快

体はポカポカ

寒いといふ暖房を強くしてしまいます。するとついウトウト…。
足元は寒くて勉強に身が入らない。
また、足元を遠赤外線ヒーターで暖めると今度は上半身が寒く感じる!
こんな問題を「頭寒足熱システム」が解決します!!



寒い受験シーズンも
これがあれば安心だね!



※標準品です



業績向上に貢献します!!

冷え性対策に!!

事務所のイメージ
チェンジに!!

超省エネ! 8時間で
電気代が約13円!!

冬の時期に、「暖かいからエアコン切るよ。」と言われても、冷え症の人にはつらい!
夏に冷房の効きすぎ、これまたつらい!
「頭寒足熱システム」は私だけの自由空間。
好きな時に好みの暖かさを!!



これで職場環境もバッチリ!
一年を通して使えるし、
とっても経済的!



※オプション品です